

自然災害にも「ヒヤリ・ハット」を！



総合防災研究部門 特別研究員 申 紅仙

「ヒヤリ・ハット」とは？

「強風で看板が飛んできてぶつかるところだった！」、「大雨で道路が冠水して転びそうになった！」などの経験はありませんか？このように、危険な場面で“ヒヤッ”としたり“ハッ”としたりしたけど、なんとかケガをせずにすんだ体験を「ヒヤリ・ハット（インシデント・レポート）」といいます。ヒヤリ・ハットは元々は産業場面での作業中の事故を防ぐために活用されてきました。近年、患者の取り違えや飛行機の便名読み間違えなど、ちょっとしたミスが原因で発生した医療事故や航空事故などがテレビや新聞を騒がせています。これらの事故を詳しく分析していくと、同じようなミスが頻発していたり危険な状態が続いていたりと、いつ大惨事になってもおかしくない状態であったことが多いのです。そこで、事故後に何らかの対策を講じるよりも、“ヒヤッ”“ハッ”とした経験の時点で悪い原因を改善して事故を未然に防ごうという考えから、ヒヤリ・ハットが活用されるようになったのです。

自然災害のヒヤリ・ハットを探せ 対策に役立てる

私たちの研究所では、これまで自然災害ではあまり活用されることのなかったヒヤリ・ハットを防災情報として

活用することを試んでいます。自然災害でのヒヤリ・ハットはどの様なもので、どれ位あるのでしょうか？ここでは、福島県郡山市で2002年9月に行ったヒヤリ・ハット調査を紹介します。この調査では、これまでに浸水被害のあった4地域（図1の太線で囲っている、a, b, c, f地域）住民を対象に質問紙を配布しました。回収された質問紙は336票であり、54件のヒヤリ・ハットと災害体験が得られました。ヒヤリ・ハットに関する回答は予想より少なく、本来のヒヤリ・ハットより重大な体験となる、ケガ体験も多く含まれていましたが、防災にとって有益な情報でした。54体験の行動特性を似たもの同士で振り分けた結果、5つのカテゴリーに分けられました。その内訳は、第1カテゴリー（33%）：「避難又は移動中、道路の状態が悪くて危ない思いをした体験」、第2カテゴリー（33%）：「危険が迫り、家に留まれなくなって避難した体験」、第3カテゴリー（15%）：「災害・被災状況に対する回想」、第4カテゴリー（11%）：「家財保護・復旧体験（減災）」、第5カテゴリー（8%）：「その他（分類が困難な体験内容）」でした（図1参照）。特筆すべき体験の特徴としては、「側溝に吸い込まれそうになった」などの避難・移動中に足下がよく見えず危ない思いをし

ている体験が比較的多かったことです（第1カテゴリー）。これらの原因はいくつか考えられますが、深夜の真っ暗な中を避難したり移動したりすることの危険性が強く示唆されました。この対策として、道路が冠水しても側溝と道路の境が分かるようにポールや棒などの印を設置することが有効と考えられます。また、暗くなっても見えるように、蛍光塗料を使用することも重要です。もちろん、地域住民が危険な場所情報を共有し、その場所を通るときに注意するように呼びかけることも重要です。このように、ヒヤリ・ハットは改善すべき環境、または気を付けるべき場所を特定することに役立ちます。

貴重な体験を多くの人と共有

ヒヤリ・ハットは、本来はケガのない体験ですので、被害の強度としては印象が薄いためあまり注目されることはありませんでした。しかし、今回の調査結果から見て、側溝のある道路を歩いたり自動車の運転をしたりと、普段なんでもない行動が、急に大変危険なものになってしまうことがわかりました。このような体験は、防災のための貴重な情報です。

ヒヤリ・ハットは皆さんがよく経験するものであって、特別な経験ではありません。ヒヤッとすることがあったら、是非、1) どの様なときに起きたのか、2) なぜそのような行動をとってしまったのか、3) いつも同じ場所で体験しているのか、などの要因をふ



図1：ヒヤリ・ハット体験および災害体験の発生場所および参考位置
 被調査者の体験内容と居住地を元に予測された体験位置を地図上にプロットした。【気を付ければ避けられたか？】の問いに対し、「気を付ければ避けられた」の回答率がもっとも高かった行動分類1の体験内容から、特徴的なものの概略を記した。（楕円形の吹き出しは、転んだり怪我をしたりした体験）

まえて考えてみて下さい。そうすれば大事に至る前に改善すべき方法が見えてくるはずです。そして、出来ればその貴重な体験を自分一人のものにしないで、多くの人々と共有してください。他の地域で起こる集中豪雨や大雨の時に避難するタイミングや移動経路を決めるときに役立ちます。また、これらの体験を防災マップに自由に書き込んでいけば、防災情報のコミュニケーションと防災意識を高めることにも役立ちますので是非ためしてみてください。